

1学期終業式 放送講話

皆さん。新型ウィルスの影響で、講堂に集まつて今終業式は行いません。放送で行いますのでよく聞いて下さい。

まずはこの1学期、皆さん全員が大変よくがんばりました。そのことを校長先生はしっかりほめたいと思います。

ずっと続いた臨時休校の間も、無駄に外出しないで、家で過ごしていました。外に出て公園で遊んだり、友だちと一緒に過ごしたりすることなども全部我慢して、よく家で過ごすことができました。そして5月19日から臨時登校が始まり、6月1日からは分散登校、そして6月15日から本格的に1学期がスタートしました。

1年生は入学式もオリエンテーションのみで行い、5・6年生が毎年行っている自然体験学習も中止となり、他の学年のみなさんも、昨年までならたくさんの行事などもおこなっていましたが、すべて行うことができませんでした。

そして、行事をしないで、ひたすら、一生懸命、まっすぐ毎日の勉強をがんばりました。校長先生は、長い間学校の先生をつとめていますが、これほどよくがんばる子どもを見たことがありません。

勉強よりも色々な行事を楽しみにしていた人もいるでしょう、またときには勉強に疲れて、授業中にぼーっとしてしまった人もいるかと思いますが、それでもほとんどの人が、本当に一生懸命に学び合っていたと思います。

そう、1年生のみなさんはわからないかもしれません、2年生以上のみなさんは、「あれ、昨年までと少し勉強のスタイルが変わったな」と思った人もいるかもしれません。

これは、国の文部科学省が、これから授業は、今までのように、先生が授業の内容を説明して、黒板を書いて、それを皆さんのがノートに書いて勉強するだけでなく、ペアやグループによる子ども同士の話し合いを中心に授業を進めてくださいと

決めたからなんです。

国が決めたからと行って、すぐにできるのかなあと、心配していましたが、敷津小の皆さんは、そのところも、本当によくがんばったと校長先生は思います。

低学年では、ペアで上手に国語の本を読む光景を、何度も見ました。ひとりでは、なかなか読むのが難しそうなところでも、ペアの二人で本当に上手に読み合っていましたね。

中学年では、グループの学びがとても上手になりました。勉強は、基本的には一人でするものですが、わからないときには、素直に「わからないなあ、ここ教えて？」とまわりの人にたずねることができます人が増えてきましたね。

高学年になると、さらに聞き合いがうまくなつて、友だちの意見に対して「○○さんの意見とは少し違って、私はこんなふうに思います！」と、先生をあいだにはさまず、友だちどうしが意見を交流するシーンを見ることができました。

校長先生は、学び合いは、校長先生が知る限りなかなか進みにくいものだと思っていましたが、敷津小のみなさんは、本当によくがんばって、新しい学び方に取り組んだと、これを一番ほめたたえたいと思います。よくがんばりました。

さて、いよいよ夏休みですが、とても短いです。毎日だらだら過ごさず、宿題や家のお手伝いにはげんでください。校長先生から1つだけお願いです。「自分の命を大切にして、過ごしましょう。」コロナウイルスや熱中症に気をつけて、2学期のはじまり、8月25日にはみなさんと元気な顔であえるよう、お願いします。

以上で校長先生のお話を終わります。

ではまた 2 週間後、元気に学校で出会えることを楽しみに待っています。